

中部システムサポート株式会社
看護小規模多機能型居宅介護
ナーシングケアハウスやえしま

令和3年度 第2回地域密着型サービス運営推進会議

日時:令和3年7月23日(金)

場所:看護小規模多機能型居宅介護ナーシングケアハウスやえしま

司会:荒川 裕紀子

(議題)

- ①利用者・入所者サービス提供の状況(5月～6月)
- ②行事実施状況
- ③職員研修、勉強会の報告
- ④事故・ヒヤリハット報告
- ⑤苦情報告
- ⑥前回(第1回推進会議)ご意見
- ⑦その他

次回の令和3年度 第3回運営推進会議は
令和3年9月24日(金)11:00～12:00予定です。

①利用者・入所者サービス提供の状況(5月～6月)

5月 登録人数 21人(男性 12人・女性 9人) 平均介護度 3.4

短期入所 1名

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3人	5人	2人	4人	7人

6月 登録人数 21人(男性 13人・女性 8人) 平均介護度 3.2

短期入所 3名

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3人	4人	2人	5人	7人

<新規・終了・相談>

	新規	終了	相談
令和3年5月	2人	2人	4件
令和3年6月	4人	1人	5件

*終了者については看取りケア後、療養型への入院により終了。

*新型コロナウイルス感染症退院後、療養目的での短期入所利用

②行事实施状況 コロナウィルス感染対策の為、事業所内での実施

・毎週金曜日 作業療法士(中部地区医師会訪問看護ステーション)

(カナリアクラブ) 個別の作業 集団リハビリテーション 等

・6/24 消防訓練

③職員研修・勉強会

(内部研修)

5/19(水)職員研修会

6/16(水)呼吸器(ハイパップ)について

(外部研修)

6/7(月)在宅医療介護研修

④事故・ヒヤリハット報告

(5月)

・事故報告 0件

・ヒヤリハット 2件

(内容)①見守り不足により玄関先へ出てしまう②体勢崩れによる転倒の恐れ

(対策)①見守り強化。職員間の声掛け。

②安全な体位調整を行う。理学療法士の助言いただく。

(6月)

・事故報告 1件

(内容)胃瘻カテーテル抜去

(対策)見守りの強化。職員間の声掛け。体位工夫。緊急時の対応について主治医と話し合う。

・ヒヤリハット 1件

(内容)他利用者の送迎中、自己判断で車外へ出ていた

(対策)認知症者、ADL自立。車での待機をお願いしたい場合は換気・施錠を行い安全確保。

*ヒヤリハット報告を受けて今後の対応・対策について適宜話し合う。

⑤苦情報告

・5月 0件

・6月 1件

(内容)契約時のサービス料金の説明不足

(対策)契約時、サービス計画に基づく、サービス利用料金については分かりやすく、理解しやすい説明を心掛ける。

⑥ 前回(第1回推進会議)ご意見等

・サービス満足度調査についてのご意見

(運営推進委員よりご意見)

サービス満足度アンケートについて2択の「はい」「いいえ」に困ったら、無回答になりがちだと思います。しかし「どちらでもない」と答えその理由も明記されていることから信頼関係が成り立っていると感じた。

⑧その他(報告)

・新型コロナウイルス感染症発生

令和3年6月8日(火) 事業所内、利用者様にコロナ感染症陽性であることが分かる。すぐに感染防止委員会を中心に、他利用者・職員の健康観察を行う。すぐに対策を講じた為、濃厚接触者発生なし。同日職員 PCR・翌日利用者 PCR 検査を実施。全員陰性。通常業務継続。

引き続き、感染対策を講じ、新たな新型コロナウイルス感染症発生なし。

- ・令和3年6月14日(月)豪雨・雷による事業所内一時停電
利用者様の安全確保。自家発電機による電気供給を行い事業継続。

・4月新卒新人看護師採用

新人看護師指導者を中心に、中長期的な育成計画を作成。
現場実習や外部実習(中頭病院との連携)を行う。

・ぐしかわ看護学生実習受入れ (5月~10月)

(実習目的)

訪問看護ステーション及び居宅支援事業所の役割・機能を理解し在宅療養者のもつ療養上の課題を知り、療養者及び家族がもつ QOL 向上へ向けて看護者の果たす役割について学ぶ。

・事業所内各種委員会 (月1回定例会議)

- ① 防災委員会 → 防災訓練・BCP 策定等
- ② 教育委員会 → 定期社内研修の企画立案・実施
- ③ レク委員会 → 各種レク・年間行事立案・実施
- ④ 感染防止委員会 → 各種感染症予防への対応・感染症に対する BCP 計画
- ⑤ 身体拘束適正委員会 → 身体拘束発生時にマニュアルに沿って実施。定期的な勉強会
- ⑥ 運営推進委員会 → 運営推進委員会開催時に実施(2カ月に1回)

以上、ご報告でした。

新型コロナウイルス感染症の早期終息を願い利用者様の安全・生活の安定を含め今後も職員一同真心を込めたケアを実践してまいります。